

# 新宮川水系洪水浸水想定区域図（計画規模） の更新について

令和5年2月24日

近畿地方整備局 紀南河川国道事務所

- 洪水浸水想定区域図は、以下の2つの規模の洪水について作成・公表。
  - ・想定最大規模の洪水が発生した場合
  - ・河川整備基本方針で対象としている計画規模の洪水が発生した場合
- 新宮川水系では、令和3年10月に河川整備基本方針を見直し。
  - ⇒計画規模の洪水浸水想定区域図の更新を予定。**

### <新宮川水系河川整備基本方針の見直し>

- 新宮川水系の河川整備基本方針（見直し前）は平成20年に策定。
- 平成23年9月の台風12号による洪水では、基本高水のピーク流量を上回る洪水が発生し、流域内で約4,200戸の浸水被害が発生。
- 令和3年10月に新宮川水系河川整備基本方針の見直しを策定

項目	旧：基本方針 (平成20年6月策定)	新：基本方針 (令和3年10月策定)
計画規模	1/100	1/100
計画降雨量	632mm/2日	714mm/24hr
基準地点	相賀	相賀
基本高水のピーク流量	19,000m <sup>3</sup> /s	24,000m <sup>3</sup> /s
洪水調節施設による調節流量	0m <sup>3</sup> /s	1,000m <sup>3</sup> /s
河道への配分流量	19,000m <sup>3</sup> /s	23,000m <sup>3</sup> /s

- 対象降雨波形、確率規模を、H23.9実績洪水に変更
- 対象河道を最新の測量断面に変更

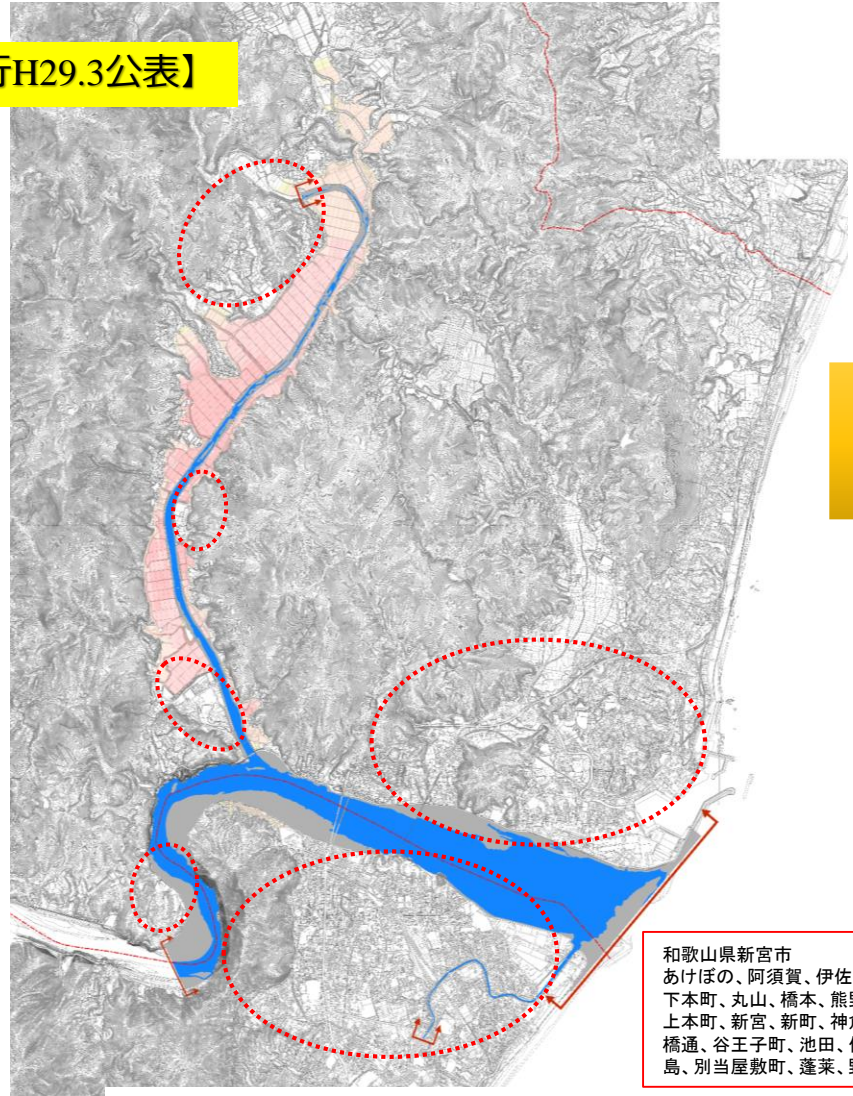
項目		洪水浸水想定区域図作成時の条件	
		現在の洪水浸水想定区域図【H29年公表版】 (熊野川、相野谷川、市田川)	更新予定の洪水浸水想定区域図(計画規模) (熊野川、相野谷川、市田川)
外力条件	対象降雨波形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L2：平成23年9月洪水型</li> <li>・ L1：平成9年7月洪水型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L1：平成23年9月洪水</li> </ul>
	洪水調節施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設なし</li> </ul>
	確率規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L2：相賀：1/1000 (937mm/24hr)</li> <li>・ L1：相賀：1/100 (632mm/2日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H23.9実績洪水規模 (714mm/24hr)</li> </ul>
	流出計算手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊野川、相野谷川：貯留関数</li> <li>・ 市田川：合成合理式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊野川、相野谷川：貯留関数</li> <li>・ 市田川：合成合理式</li> </ul>
河道条件	対象河道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊野川：平成27年測量断面 (H28年末整備反映)</li> <li>・ 相野谷川：平成28年測量断面</li> <li>・ 市田川：平成27年測量断面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊野川：R3年測量断面</li> <li>・ 相野谷川：R3年測量断面</li> <li>・ 市田川：R2年測量断面</li> </ul>
	河道の洪水追跡手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次元不定流計算</li> <li>・ 越水による流量低減を考慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同左</li> </ul>
	H-Q式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堤防高より低い水位は河道HQ係数を使用</li> <li>・ 堤防高より高い水位は、不定流水位と整合したHQ係数を使用</li> <li>・ 相野谷川と市田川は不定流水位を用いる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同左</li> </ul>
	出発水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L2：天文潮位を基本にピークを計画高水位(TP+4.11m)とした潮位ハイドロ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河道計画上の出発水位TP.+3.50m</li> <li>・ 天文潮位を基本にピークをTP+3.50mとした潮位ハイドロ</li> </ul>

### 3. 洪水浸水想定区域図(計画規模)の変更について【水系全体】

新宮川水系河川整備基本方針の見直し(R3.10)により対象外力が変更されたため、外力の変更に伴う浸水想定範囲を図示

- 和歌山県新宮市 あけぼの、阿須賀、伊佐田町、井の沢、横町、王子町、下田、下本町、丸山、橋本、熊野地、元鍛冶町、五新、春日、徐福、上本町、新宮、新町、神倉、清水元、千穂、船町、相筋、大橋通、谷王子町、池田、仲之町、田鶴原町、馬町、磐盾、浮島、別当屋敷町、蓬莱、野田、薬師町、緑ヶ丘
- 三重県紀宝町 鵜殿・成川、大里、高岡、鮎田、北桧杖

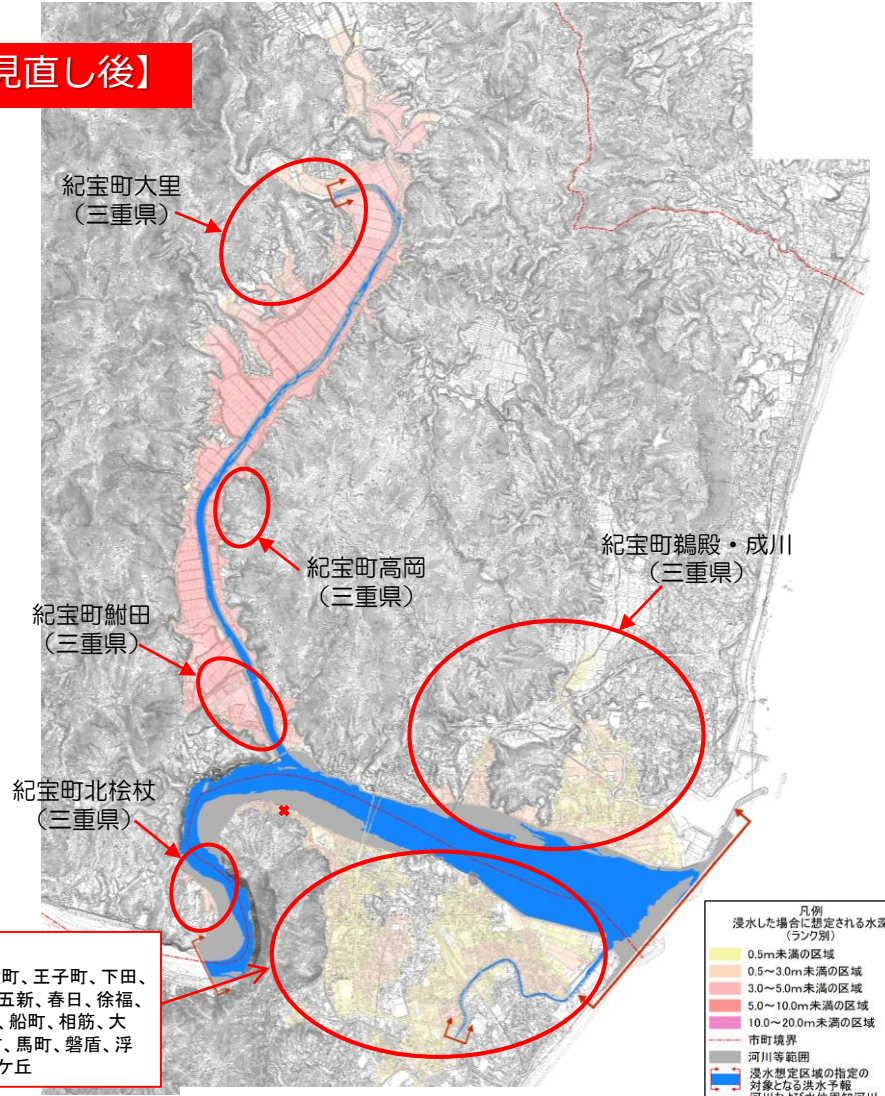
【現行H29.3公表】



洪水浸水想定区域図 (計画規模)

和歌山県新宮市  
あけぼの、阿須賀、伊佐田町、井の沢、横町、王子町、下田、下本町、丸山、橋本、熊野地、元鍛冶町、五新、春日、徐福、上本町、新宮、新町、神倉、清水元、千穂、船町、相筋、大橋通、谷王子町、池田、仲之町、田鶴原町、馬町、磐盾、浮島、別当屋敷町、蓬莱、野田、薬師町、緑ヶ丘

【見直し後】



洪水浸水想定区域図 (計画規模)

凡例

- 浸水した場合に想定される水深(フラグ別)
- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川